

METAL EFFECTS

Rust Finish

Manual

取り扱いに関する注意事項

- ・ 目・皮膚に接触すると強い刺激があります。ゴーグルやゴム手袋を着用し接触を防いでください。
塗料を含んだ霧・埃を吸うと有害です。塗装の際はマスクを着用し、十分に換気のできる空間で行ってください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 誤って飲み込んだ時は、無理に吐き出そうとせず医師の指示を仰いでください。
目に入った時は、十分な量の水で15分以上洗い流してください。その後医師の指示を仰いでください。
- ・ 皮膚についた時は、ぬるま湯と石鹸で洗い流してください。

塗装前の確認事項

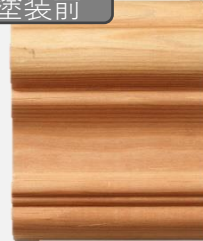
- ・ **内外装の壁、モールディング、トリム、柱、ドア、手すり、ランプ、花瓶**などの塗装に使用してください。塗装可能な素材は、金属、木材、石膏ボード、漆喰、塗装可能な壁紙、カンバス、プラスチックなどです。
- ・ **無塗装のアルミやアルマイト処理された表面、ガルバナイズ(亜鉛めっき)された金属、銅管、錆びた金属**などに塗る場合は、当商品のプライマーの前に各素材に対応した別のプライマーをご使用ください。
- ・ 塗装には、ブラシ、スポンジ、ローラーを使用してください。
メタル・エフェクツ関連の塗料は全て水性です。塗装に使用した道具は、水で速やかに洗浄してください。
- ・ 10～30度の環境で使用してください。
乾燥時間は、温度が高く、湿度が低いほど早まります。ステップ1と4はドライヤー(温風)によって時間を短縮することも可能です。
- ・ 錆の進行は、温度・湿度ともに高いほど早まります。
塗料の使用後はしっかりと容器のフタを閉め、直射日光の当たらない、涼しく、乾燥した場所で保管してください。

メタル・エフェクツ 赤錆の塗装手順

ステップ1. プライマー

- ・ ステップ2のペンキの食い付きを高める。
- ・ 目止めをして下記ステップ2の無駄な消費を防ぐ。ステップ2の金属粒子を表面に留め、ステップ3の効果を高める。
- ・ ステップ3で発生させる錆の影響から、塗装対象を守る。

塗装前



塗装後



塗装回数	2回
塗装可能面積（2度塗り）	プライマー 59mL・・・0.45m2
塗装ポイント	・ 塗装面の付着物は予めできるだけきれいに取り除いてください。ツルツルした面に塗装する場合は、予めヤスリがけをして塗装面の食い付きを高めてください。 ・ 2度塗り以上塗り重ねて厚さ0.1mm以上の塗膜を作るようにしてください。
注意事項	・ アルミの素地、亜鉛メッキされた金属、錆びた金属には塗装できません。 ・ 希釈しないでください。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・30分 完全乾燥まで・・・12時間

ステップ2. アイアン・ペイント（ベースコート）

- ・ 当製品に含まれる金属粒子とステップ3の酸化促進剤が化学反応し、短時間で本物の赤錆が発生する。
- ・ 黒くザラついた質感を作り出す。

塗装前



塗装後



塗装回数	2回
塗装可能面積（2度塗り）	アイアン・ペイント 59mL・・・0.42m2
塗装ポイント	・ 容器を振り、よくかき混ぜてから使用してください。 ・ 粘度が高く塗りにくい場合は、12%まで水で薄めて施工性を高めることができます。 ・ 乾燥手前で叩くように(角を立てるように)塗装し、塗膜に凹凸を作っておくと、ステップ3の錆を発生させた時にリアルな質感が得られます。
注意事項	・ 塗装する環境によってはステップ3を未使用でも赤錆が出始めることがあります。 ・ 錆の進行を抑えるには塗装後に冷風を当ててください。反応速度を遅く保ちながら錆の進行を助ける水分奪う効果があります。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・30分 完全乾燥まで・・・1時間

メタル・エフェクツ 赤錆の塗装手順

ステップ3. ラスト・アクティベーター（酸化促進剤）

- ・ ステップ2のペンキに含まれる金属粒子と化学反応によって、短時間で本物の錆を発生させる。

塗装前



塗装後



塗装回数	発生させたい錆の量によって変わります。
塗装可能面積（目安）	ラスト・アクティベーター 59mL・・・0.6m2
塗装ポイント	・ ステップ2のペンキが乾燥してから塗装してください。 ・ 多く塗布した場所ほど錆が強く出ます。錆が強く出るほど色は茶色から明 ・ 付属のスプレー・キャップを使用することで均等に液剤を噴霧することができます。
注意事項	・ 一度に大量に塗布すると錆が強く出ますので、少量ずつ試しながら塗装してみてください。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・5分 完全乾燥まで・・・30～40分

よくある質問

Q. メタル・エフェクツのプライマーの代わりに、一般的な下地剤を使用できるか？

A. メタル・エフェクツのプライマーは専用に調合された商品です。ステップ1に一般的な下地剤を使用すると、ステップ2以降の塗膜が剥がれてしまったり、ステップ3を塗布しても思ったように錆が出ない可能性があります。

Q. メタル・エフェクツの酸化促進剤を、実際の金属に塗布して錆を発生させることができるか？

A. 鉄や銅など実際の金属に対してもある程度は作用します。ただメタル・エフェクツの見本のような仕上がりにはなりません。また身の回りの多くの金属は耐腐食性を持たせた合金です。その場合は酸化促進が作用しません。

Q. 必ず3ステップ全てを塗装する必要があるか？

A. ステップ2は省略できません。

次の条件を全て満たす場合は、ステップ1が省略可能です。

塗装対象が、塗料の吸い込みが激しい素材(木材等)ではない場合。

塗装対象が、水性ペンキの食い付きが良い素材である場合。

塗装対象が、錆の影響を受けない、または受けても問題ない素材である場合。

次の場合は、ステップ3が省略可能です。

赤錆の塗装で、急いで錆を出す必要がない場合。(赤錆のステップ2は酸化促進剤を使用しなくても自然に錆が進行します。)